

2022年6月8日  
マクセル株式会社

## AR要素を取り込んだ小型のNEO Head-Up Displayを開発

独自の高度自由曲面光学技術をさらに進化させ、小型化を実現



「NEO Head-Up Display」の表示イメージ

マクセル株式会社(取締役社長:中村 啓次/以下、マクセル)は、独自の高度自由曲面光学技術をさらに進化させることで5Lクラスを実現した、NEO Head-Up Display(以下、NEO-HUD)を開発しました。NEO-HUDは、課題であった容積を従来のAR-HUD<sup>\*1</sup>比47%と小型化し、軽自動車やスポーツ車にも搭載可能です。また現在、NEO-HUDの技術を応用し、トラックなど商用車向けのHUDを開発中です。

マクセルでは、2021年4月よりナビゲーション情報、ADAS<sup>\*2</sup>機器と連携し対向車や歩行者を検知した際のアラート情報などを、フロントガラス越しに運転席から見える実際の風景に重ね合わせることで、ドライバーの視点移動を最小限に抑えたAR-HUDを量産しています。

### ■概略仕様

項目	仕様
視野角(H×V)[deg]	9.2×2.5
輝度[cd/m <sup>2</sup> ]	>10,000
セット容積 <sup>*3</sup> [L]	5.0~6.0
虚像距離[m]	4.5

NEO-HUDはHUD内部でARの要素を取り込んだ画像を生成することで、AR-HUDに必要な要件となるリアルタイム性<sup>\*4</sup>を実現し、歩行者などの動きに合わせ遅延なくアラート表示できます。

小型化にするため、虚像距離は短くなっていますが、AR要素を取り込んだ表示画像の位置、大きさなどを最適化することで、遠近感を持たせ、高い視認性を確保しています。

マクセルは今後も、光と映像技術で新しい価値を創出し社会の安心安全に貢献していきます。

- \*1 AR-HUD:Augmented Reality(拡張現実) Head-Up Display
- \*2 ADAS:Advanced driver-assistance systems。先進運転支援システム
- \*3 セット容量:車両形状によりセット容積数値は変わります
- \*4 リアルタイム性:高フレームレート(60fps)

#### ■HUD の製品ページ

[https://biz.maxell.com/ja/display\\_equipment/ais\\_index.html](https://biz.maxell.com/ja/display_equipment/ais_index.html)

#### ■商標

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

#### ■製品に関するお問い合わせ先

マクセル株式会社 新事業統括本部

お問い合わせフォーム:

[https://www.maxell.co.jp/inquiry/maxell/ja/form.jsp?f=biz&q=hud\\_m\\_ja\\_biz](https://www.maxell.co.jp/inquiry/maxell/ja/form.jsp?f=biz&q=hud_m_ja_biz)

以上

---

ニュースリリース、お知らせ記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、  
発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日時点のものです。  
予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめ  
ご了承ください。

---